

第3回 嘉麻市自治推進委員会（第4期） 会議録

- 1 会議等の名称 第3回 嘉麻市自治推進委員会（第4期）
- 2 開催日時 令和元年11月13日（水）15：00～
- 3 開催場所 嘉麻市役所 碓井庁舎 会議室3
- 4 公開又は非公開の別 公開
- 5 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）
- 6 出席者
 - (1) 出席委員
大山 博之、添田 文彰、冨崎 静江、大里 盛人、鹿江 由美子、
川原 幸二、西村 光昭、松田 クニ子
 - (2) 欠席委員
宇佐波 吉徳、室井 美智世
 - (3) オブザーバー
副市長 白石 二郎
 - (4) 執行機関
企画財政課 課長 大村 輝生
課長補佐 廣谷 友紀
係長 松岡 彰
- 7 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人
- 8 議題及び審議の内容

【議題】

- (1) 審議会等の会議及び会議録の公開に関する運用状況について
- (2) パブリックコメント手続の実施に関する運用状況について
- (3) その他

【審議の内容】

(1) 審議会等の会議及び会議録の公開に関する運用状況について

平成30年度に開催された審議会等の会議や会議録の公開状況について担当課へ調査を実施後、ホームページや情報コーナーで実際に会議録が公開されているか実地調査を行った。結果として平成30年度に開催された40の審議会等のうち、「問題なし」が14、「一部問題あり」が20、「問題あり」が6であった。

今後については、今回の調査結果及び自治推進委員会での意見を担当課に伝え、マニュアルについても再度周知することで適正な制度の運用を図っていく。

《主な質疑及び意見等》

・しっかり制度を運用している部署とそうでない部署があり、バラつきがあるのではないかと。4つの庁舎に会議録が的確に配架されることが大事だと思う。

⇒今回の調査で部署によって制度の運用にバラつきが見られたため、調査結果の周知を行い、問題点を指摘していく。

・部署によってバラつきがあるのは、事務のやり方が分かっていない職員がいると思うので、事務の流れをフローチャートにまとめたマニュアルを作成して周知すればいいのではないかと。

⇒フローチャート等による分かりやすいマニュアルを作成し、職員へ周知をすることで制度が正しく運用されるように図っていきたい。

・会議録を公開するまでの期間が1ヶ月以内と決まっているが、1ヶ月以上かかっている部署が結構あるようである。会議録は会議内容の全文を記載するものではなく、要点筆記のものでいいようになっているので、会議録作成に時間がかかるようであれば、全文記載のものは作成せず要点筆記だけのものを1ヶ月以内に作成するように指導すべきではないかと。

⇒会議内容の全文を記載した会議録の作成は必須ではなく、要点筆記の会議録のみの作成でも問題ないことを職員に対して再度周知を行う。

・今回の調査が初めてであればこの結果は仕方がないかもしれないが、以前から行っている調査でこの結果は問題がある。早急に改善すべきである。

⇒今回いただいた指摘を職員に周知し改善していく。

(2) パブリックコメント手続の実施に関する状況について

パブリックコメント手続の実施状況について担当課へ調査を実施し、平成30年度に実施された条例や計画等のパブリックコメントは7であった。また、平成30年度に議会に上程された議案や策定された計画について、パブリックコメント実施の必要性を審議したところ、一部パブリックコメントを実施すべき計画があったものの概ね適正に運用されていた。

現状では、公共施設の見直し等一部の計画のみ意見が集中することはあるものの、全体的にパブリックコメントの提出者が少ない傾向にあるため、市民にも分かりやすい言葉で意見募集を実施するなど、意見提出者の増加を図っていく。

《主な質疑及び意見等》

・パブリックコメントの実施状況について、公共施設の見直し等、一部の計画のみに集中しており、全体的にはほとんど意見が出ていないのが現状であるため、制度の運用方法について、見直しを行う必要があるのではないかと。

⇒全体的に意見の提出者が増えるように、運用方法について検討を行う。

・「パブリックコメント」という言葉の意味が市民には分かりづらいのではないかと。市民

にも分かりやすい言葉で募集すれば意見の提出者も増えるのではないか。

⇒「パブリックコメント」の言葉の後ろに括弧書きで分かりやすい説明を入れるなど、市民に分かりやすい内容にすることにより、意見提出者の増加を図っていきたい。

9 配布資料

- (1) 資料1 審議会等の会議の公開に関する運用状況結果一覧（H30年度）
- (2) 資料2 平成30年度パブリックコメント実施状況